



関連法令

日本国憲法 教育基本法 学校教育法等

社会に開かれた教育課程

- よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有
- 学校は、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようになるのかを教育課程において明確にする
- 社会との連携・協働によりその実現を図る

北広島市のめざす子ども像

『大志をいただき  
心豊かに  
たくましく 生きる子ども』  
～賢く 優しく たくましく～

学校教育目標

学ぼう 拓こう つなごう たくましく

- ・自ら思考し 真理を求めめる生徒
- ・豊かな心を持ち 互いに協力する生徒
- ・創意を生かし 主体的に行動する生徒
- ・心身ともに健康で たくましい生徒

スタンダード 「表現・えがお・チャレンジ」

令和3年度の重点目標

共に学び、共に高め合う子どもたち

【知】意欲的に学び、主体的に考え 表現 する力

【徳】思いやりを持ち えがお で協力し合う

【体】大志をいだきたくましく チャレンジ

育成を目指す資質能力



保護者・地域の願い

(保護者アンケートから)

- ①「何かに打ち込み充実感・達成感」
- ②「授業が楽しく充実⇒学ぶ意欲」
- ③「確かな学力の定着に向けた指導」  
打ち込めるものがあり、充実感や達成感の持てる学校生活と楽しくわかりやすい授業から「学ぶことが好きになってほしい」という保護者の願いが強い。

子どもの実態(課題となる事項)

- ①将来の夢や目標を持っている  
十分達成 R3: 61⇒目標 80%
- ②「自分で決めたことはやり遂げることになっている」  
十分達成 R3: 73⇒目標 80%
- ③「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」  
十分達成 R3: 58⇒目標 70%

重点目標

共に学び、共に高め合う子どもたち

スタンダード	【知】意欲的に学び、主体的に考え、 表現 する力	【徳】思いやりを持ち えがお で協力し合う	【体】大志をいだきたくましく チャレンジ
育成を目指す資質能力	意欲的に学び、自ら考え、主体的に表現する人を育てる9年間	自他を尊重し、えがおでコミュニケーションをつなげ・ひろげる9年間	心身を鍛え、大志をいだきたくましくチャレンジする9年間
何ができるようになるか ●学校教育の基本			
生きて働く 「知識及び技能」	①学力・学習を支える基盤づくり 「聞く・話す・書く・読む」 より良い学習・生活習慣の改善	①自他を尊重し思いやりの気持ちを持っている。	①自ら課題意識・目標を持ち、意欲的に心身を鍛えている。
未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」	②教科の見方・考え方を働かせ、多様な手段で、主体的に表現する。 (言語・図表・身体・芸術等)	②笑顔を大切に協働の中で、ねばり強く課題解決に取り組んでいる。	②困難に立ち向かうたくましさを持ち、新たな創造に取り組んでいる。
「学びに向かう力、人間性等」の涵養	③表現力を生かし、協働して考えを創り上げたり、課題解決したりする。	③学びや生活にコミュニケーションスキルを生かすことができる。	③学びを人生や社会に生かすそうと積極的にチャレンジしている。

重点教育目標の具現化に向けた取組

意欲的に学び、主体的に考え、表現 する力

思いやりを持ち、えがお で協力し合う

大志をいだきたくましく チャレンジ

- ①「学力・学習を支える基盤づくり」  
1) 目的や状況・相手に応じて「聞く」「話す」  
2) 目的条件に応じて「書く」必要な情報を「読む」  
3) より良い学習習慣・生活習慣の改善  
・心を込めた「あいさつ・返事・言葉遣い」TPO  
・最後まできちんと聞く正しい姿勢「ONの姿勢」  
・UD、家庭学習、教科ガイダンス等の工夫
  - ②「主体的、対話的で深い学び」・授業改善  
1) 主体的学びの視点～見通しと振り返り  
2) 対話的学びの視点～学び合いと思考を深める  
3) 深い学びの視点 ～「見方・考え方を働かせ課題解決に向かう教科の特質に応じた授業づくり」  
・ICTを活用した学習指導の個別化・学習の個性化と探究的な学習や体験活動等を通じて、多様な他者と関わる「協働的な学び」を一体的に充実。  
③義務教育9年間を通して『生きる力』を育む小中一貫教育の涵養  
1) 「めざす子ども像」を共有し「生きる力」の育成  
2) 義務教育9年間を見通した一貫した指導  
3) 子ども同士・教職員間の交流と協働による教育  
4) 学びを支えあう教育環境づくり  
⇒学校、家庭、地域が連携して子どもの連続した学びを支える教育環境 (R5CS 全市展開)
- 〔評価〕
- 「学校が楽しい」(学力学習等調査アンケート)
  - 「自己有用感」自分には良いところがあると思う(学)
  - 「学校でPC等のICT機器を毎日使用」(学)

- ④道徳教育の充実  
1) 全教育活動で自他の命を大切に教育充実  
「SOSの出し方に関する教育」の推進  
2) 「自主自律、自由と責任」「よりよい学校生活と協働」「思いやり感謝」「生命の尊さ」を重点  
3) 人権、福祉、環境、平和教育と関連  
4) 特別支援教育の観点や性の多様性、LGBTQ等に対する合理的な配慮の実施
  - ⑤居場所があり、支持的風土を醸成  
1) いじめ、不登校の早期発見・早期チーム対応  
2) 生徒理解ツール「ほっと」活用と集団づくり  
3) 人間関係を築く力を育む学級・集団づくり  
4) (児童会) 生徒会活動の充実⇒支持的風土醸成  
5) 自己有用感を高める道徳・特活・総合の充実
  - ⑥コミュニケーションスキルの育成  
1) 国語のみならずレポート作成・議論等言語活動から全ての学習の基盤となる言葉の力育成。  
2) 「文章やメモから発表」「根拠に基づいて発表」等、多様な発表力や「プレゼンテーション力」「表現力」をつける学習を充実。  
3) 相手意識を育成し、自発的に「つながる」「伝える」ことから学びを深める態度を培う。
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり・・・」(学)
  - 「学校生活・地域社会で見せる自然な笑顔(日常観察)」
  - 「生徒理解支援ツールの分析・いじめアンケート分析」

- ⑦心身を鍛える体育・文化活動・部活動の充実  
1) 小中一貫を活用した体力向上の取組  
2) 小中一貫を活用した音楽・芸術分野の連携  
3) 部活動指導体制の充実
  - ⑧自己の進路や生き方を考え、夢や目標を持って努力することの大切さを学ぶ大志学の充実。  
1) 学びを人生や生活・社会に生かそうとする(挑戦する心)を養う大志学。  
2) 「かかわる力・みつめる力・やりぬく力・かなえる力」に焦点をあてたカリキュラム開発。  
3) 「きたひる夢ノート」、職業体験等のカリキュラム開発推進。  
4) 旅行的行事等、体験・協働を伴った学びの充実と成果プレゼンテーションの工夫。  
5) 特別支援教育⇒キャリア・インクルーシブ  
6) ファイターズ連携事業活用
  - ⑨今日的課題への対応  
1) ICT、GIGA、S、アンビシャス4ルール  
2) 信頼され魅力ある学校づくり推進 CS  
3) 持続可能な社会づくりの担い手 SDGs  
4) 特別支援教育の充実  
5) 食育、安全教育、防災教育等の推進  
6) 子どもと向き合う時間を生む働き方改革
- 「将来の夢や目標を持っている」(学・生徒A)
  - 「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦」(学)
  - 「目標をもって最後まであきらめず・・・」(生徒A)

指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働 (実施するために何が不可欠か)

1. 義務教育9年間を通して『生きる力』を育む小中一貫教育の涵養
2. 専門性を高める小中教職員の協働体制確立と研究・研修(個別最適な学びと協働的な学び)の充実
3. 迅速かつ適切な初期対応とチーム広葉確立
4. いじめ・不登校を生まない学年・学級経営
5. 教育相談活動充実(SCSSW 関係機関等との連携)
6. 特別支援Coを中心としたチームによる組織的対応と関係機関との連携強化
7. R5コミュニティ・スクールを見据えた連携・協働(CS 全市展開に向けた地域連携促進)

安心・安全を守る

- ①教育活動全般における万全の安全対策
- ②「自助・共助・公助 備えること」(安全・防災教育)
- ③認め合い、安心して過ごせる教室、学校(人権尊重)
- ④養護教諭・栄養教諭を活用した食育とアレルギー対応

開かれた学校づくり

- ①地域の人材、教材を生かした学校づくり(学校支援地域本部事業の活用)
- ②R5小中一貫を軸としたコミュニティ・スクール(学校運営協議会)準備
- ③各種たより・学校HPを活用した積極的な情報発信